

教育研究所だより



宮古島市立教育研究所
 所長 平良 善信
 宮古島市平良字西里1140
 TEL 73-1104

令和2年12月17日に福井大学連合教職大学院と宮古島市教育委員会が、「連携協定」を結びました。この連携協定により、令和3年4月1日より、宮古島市立狩俣小学校 教頭下地美和子先生が本学に入学しました。本大学院の特徴は、学校（拠点校）に在職しながら、学校を休むことなく、学校の年間リズムに沿って、同僚とともに学校が抱える現実問題解決（研究課題）に取り組みながら、下記の力を磨くことができます。

授業力・研究力・ミドルリーダーシップ、組織マネジメント、スクールリーダーシップ

ちなみに、美和子教頭は、学校改革マネジメントコースで学んでいます。また、多良間の中の上里公人教諭も本年度入学し、ミドルリーダー育成コースで力をつけています。

学校長へのインタビュー

拠点校（狩俣小学校）

松原伸一校長



Q 1 本年度より福井大学教職大学院の拠点校になりましたが、拠点校になったことは、学校長の学校経営を推進する上で、どのようなことがメリットとなると考えますか。

A ①：他の職員にとっても情報を共有すること（大学院だよりの発行）により院生から学ぶ、大学院の先生方から学ぶ機会がある。（大学院の先生方が宮古島へ来島し、研修を行うこともできる。）



Q 2 学校経営を行う上でのメリット

A ①：これからの教育における動向や、新しい方向性等、院生が大学院で学んだことを取り入れることによって、課題解決に繋げることができる。

A ②：院生自身の学びはもちろんのこと、校長含め他の職員への波及効果がある。児童の教育、職員の育成にとって院での学びがすぐに実践に繋がる。まさに「学び続ける教職員」の実践。

A ③：8月に行われる狩俣地域学習会に向けて大学院の福島先生と地域自治会長と一緒に話し合う機会を設けた。地域にも大学院で学ぶ目的を伝え、これまで以上に「こんな児童にしたい、こんな学校にしたい」という思いを学校と地域が共通理解した上で児童の教育にあたることことができる。

Q 3 また、デメリットはありますか。

A ①：院生が働きながら学ぶことができ、即実践できることはメリットであるが、日頃の業務をこなしながら院生としての会議参加や課題レポート、大学院との連絡調整等、忙しさは増してくる。



教頭へのインタビュー

宮古島市初の第1期生

下地 美和子教頭



Q1 何故、大学院入学を希望したか

A①：学校で働きながら、自校の課題解決が大学院の学びになるので合理的だと思った。また、変化の激しい昨今、時代の流れを見据えて教育に向き合い、対応する力を付けたかったから。

A②：私が現在の勤務地の出身なのでお世話になった地域に還元する意味も込め、自分が院生になることによる恩恵が、地域を含めた自校の活性化につながると思ったから。

Q2 入学に際して感じたこと

<入学前に不安に思ったこと>

A①：新しいことに対する不安。大学院でこれから学ぶことに自分がついていけるのか、他の先生方とうまくやっていけるのか、与えられた課題をこなすことが出来るのか等。

A②：願書の提出や入試、郵送での提出物などの内容やメ切期間が、一つ一つがこれでいいのかなど、自分の大学時とは異なる事ばかりで不安に感じた。

<入学して安心したこと>

A①：大学院の福島昌子先生の力強いフォローがあり安心した。

A②：福井大学教職大学院のコーディネーターチャーに平良善信所長がなられて、宮古島で相談できる役職につかれたのでとても心強く思った。

A③：院の先生方は、志が高く人柄も良い方ばかりで、みんなで協働的に学ぶ雰囲気があり、安心して学べる。

A④：働く場所や環境も違うのに、自分と同じ課題等を持っている先生もおり、親近感が湧いた。毎回様々なことに気づき・学びが多く、周囲の先生方の意見や考え方、対応、解決策がとても勉強になる。視野が広がるので有り難いと思った。

Q3 院生としてどのようなことを学んでいきたいか

A①：院で出会った先生方からたくさん刺激を受け、広い視野でのものの見方を学び、今後子ども達や先生方、保護者の方々とはよりよい関わり方が出来るようになりたい。

A②：ファシリテーターの仕方など、教師としての資質向上、スキルアップ

Q4 自己の研究を今後どのように活かしていきたいか
よりよい学校運営・教育活動に活かしていきたい。

関連事業のお知らせ

<宮古島夏の集中講座> 8月1日～3日（3日間）

宮古島に全国から院生が集合し、探求を深めます。オブザーバーとして、村上教頭（平良中）砂川誠・歩教頭（伊良部島小中）、上田教頭（下地小）、福原教頭（東小）が参加します。

<宮古島ラウンドテーブル> 8月4日（1日）

県外の院生と宮古の教員が一同に会して、テーマに沿って協働研究・探求し、教師としての資質能力を高めます。本ラウンドには、宮教事主催の中堅教員研修受講者も参加します。